

令和2年4月1日

西脇市議会議長
村井 公平 様

文教民生常任委員会
委員長 浅田 康子

「西脇市手をつなぐ育成会」との課題懇談会報告書

実施団体： NPO法人 西脇市手をつなぐ育成会

日 時： 令和2年2月14日 19:30~21:00

場 所： 大野隣保館 会議室

出席者： 西脇市手をつなぐ育成会

竹中敏文理事長、大隅克己副理事長、岡本英子副理事長

坂田加代子理事

文教民生常任委員会

浅田康子、近藤文博、寺北建樹、村井正信、坂部武美、高瀬 洋

ほか傍聴議員7名

「懇談概要」

(1)竹中理事長から「西脇市手をつなぐ育成会」について説明

①西脇市手をつなぐ育成会は、全日本手をつなぐ育成会の下部組織で、市内在住の療育手帳保持者の知的障害者及び肢体不自由者の保護者で組織
会員数42名、賛助会員2名で構成

②知的障害とは出生前・出生時・出生後の様々な要因で起こる、乳幼児から現れる知的能力の発達遅延で治療方法はない。

③現在の運営施設

- ・地域活動支援センター「ワークホームタンポポ」(大野隣保館横)
利用者7名
- ・小規模作業所「杉の子ルーム」(萩ヶ瀬会館2F)利用者3名
*兵庫県のみ単独事業
- ・宿泊訓練施設「わっしょい」(西脇市八日町)登録者数14~15名
*西脇市の単独事業(三木市も同様施設を運営)

「課題」

(1)運営資金について 県・市からの規定の補助金だけでは足りず、不足は利用者負担・社協からの寄付・バザーなどの売上で賄っている。

市として別枠で補助率UPを検討できないか。

(2)世話をする職員の恒常的な不足、新規募集をしても仕事に比して給与が低いので応募がない。今後の人材採用が不可避であること。(年収ベース 200万円弱)

(3)知的障害者も高齢化が進み、今後は高齢者の継続的なケアのためのグループホームの設置が必要

・虹の会工房グループホーム開設

2020年4月開設でようやく1件(部屋数10)が開設されるが、民間が建設した建物を借りて、賃借料を含んだ運営を行うこととなる。この方式は今後も拡大することが期待できる。

ただし、運営費用総額は、基本的に(国県の家賃補助1～1.5万円+障害基礎年金)の範囲内で賄うことになる。(参考 厚労省・日本年金機構の国民年金障害基礎年金から:子どもがいない場合1級 974,125円(81,177円/月)、2級 779,300円(64,942円/月))

今回は、この施設の担当者が欠席のため運営に係る詳細な数字は不明だが、問題は10部屋の稼働率によっては厳しい事業運営が想定されるので、その場合の市からの支援体制の検討が必要

(4)災害時の避難について

事業所としての避難計画を作成していく。

「意見交換」

(議員)

・課題として避難場所や人手不足であることをお聞きしました。

今、必要なことは何でしょうか。

(育成会)

・第二・第三の施設がほしい(男性専用・女性専用の施設)。

(議員)

・具体的には、どんなことが必要ですか。

(育成会)

・補助金を決められた率でなく、市別枠での補助金が出ないか。

一番はお金です。近隣でやってるところがあるかと問われる。

(議員)

・グループホームでは家賃はいくらになるのですか。

職員を何人配置されるのですか。水熱費をいくら位かかるかで入られる方の家賃をどれ位に考えておられるのでしょうか。

(育成会)

・本人の年金で賄える金額です。B1(中度)の方で年80万円くらい、A(重度)の方で年100万円位が年金だと思います。

(議員)

- ・年金 80 万円のうち 60 万円位なら賄えるのですか。

(育成会)

- ・国・県の補助が 1 人、月に 1 万円～ 1.5 万円くらいあります。
家賃のほかに、お小遣いを 2 万円くらいは渡したいと思います。
- ・新しく出来るグループホームは 1 F は男子、2 F は女子としています。
上・下同じ間取りです。階段があるので、車イスは利用出来ません。
1 個目はそうなっているので、将来は平屋を希望しています。
そうすると、広い土地が必要になります。

(議員)

- ・工務店に支払うのは年 600～ 800 万円あればいけるのですか。

(育成会)

- ・30 年償還です。
- ・収益を上げるのに、ショートステイとして空き部屋を使ったらよいと聞いています。

(議員)

- ・就労はどこへ行くのですか。

(育成会)

- ・グループホームは 18 歳以上の人です。B 型作業所や虹の会へ行きます。
- ・利益を上げるのに、たとえ少しでも増やす方法はないかと考えています。
- ・B 型作業所は、取り合いになってます。

(議員)

- ・毎年、障害者は増えていますね。

(育成会)

- ・5 人に 1 人はいろんな事情があると言われてます。

(議員)

- ・入所の予約状況はどうですか。
黒田庄に出来るまで他へ行ってた人が帰ってくるのではないですか。

(育成会)

- ・障害者は慣れた所が安心して暮らせるので。

(議員)

- ・障害者の避難所のことはどうですか。

(育成会)

- ・車の中で暮らす人もあると聞きます。
避難所にひとりずつの仕切りがあるだけでも随分違います。

(議員)

- ・古民家や空き家を利用することは考えられないですか。

(育成会)

- ・障害者は車イスも使いますので廊下の幅が 2 m は要ります。古民家はそうっていない

ので、改修するのにかえて多額のお金がいります。

(議員)

- ・ 短期間部屋が空いたらショートステイに使ったらいいのではないですか。

(育成会)

- ・ 空いているときだけショートステイに使うという事は出来ません。
入所の部屋としては使えなくなります。

(議員)

- ・ いつまで居れるのですか。

(育成会)

- ・ 65 歳以上は特養に行ってもらうことになりますが強制ではありません。

(議員)

- ・ 避難の計画はどうなっていますか。

(育成会)

- ・ 近に、事業所としての計画の説明があります。

(議員)

- ・ 夜、泊まる訓練が必要になりますね。

(育成会)

- ・ 普段から泊まる経験をしています。(わっしょい) 市単独でもらっていることに感謝しています。

(委員会)

参考になる話をありがとうございました、課題を認識いたしました。

前向きに検討していきたいと思えます。